



海匠農業事務所

桑原 透

平成23年度入庁

農業土木

Q 1 現在はどんな仕事をしていますか。また、現在の仕事のやりがいや魅力、印象に残っていることなどを教えてください。

管内の農村地域におけるインフラ整備を行っています。具体的には農道整備や排水機場の更新整備に関する、設計・積算・工事監督などの業務を担当しています。いずれも、土地改良事業として農業者や地域に必要とされて実施するものであり、その要望を実現するために関係者とのコミュニケーションが重要となります。

農業土木職としての知識や技術で応え、整備が完了した際に、利用者の方から良い評価を得られたときはやりがいを感じています。

Q 2 千葉県を志望した理由を教えてください。

私は民間企業を経験して千葉県に入庁しましたが、そこでは、自らが担当する仕事の期間しか地域に関わることができませんでした。

そのため、行政の立場で、計画立案・調査設計・工事施工といった幅広い段階に携わり、地域を発展させたいと思うようになりました。

その中で、出身地である千葉県で、自分の経験と知識とやる気を発揮したいと考え志望しました。

Q 3 「農業土木職」として働く上で、心がけていることや大切なことは何ですか？

県の土地改良事業でインフラ整備をした場合、最終的に施設は利用者（管理者や農業者）へ引き渡されます。そのため、一つの構造物を作るにあたっては、利用する側の視点に立つことが重要であり、行政側だけで決めることはありません。そのため、事業を実施する際には農業者や地域の住民の方と積極的にコミュニケーションをとることを心がけています。

Q 4 今後どのように働いていきたいですか。目標や、取り組んでみたい仕事など教えてください。

どんな業務であっても日々勉強が必要です。これからも農業土木職としての専門知識をもって、農業者や地域に対してベストな提案と仕事をしていけるように励みたいです。

Q 5 受験生へ一言

インフラを支える仕事は多岐にわたり、先人達が残したものを更に発展させるやりがいがあるものばかりです。農業土木職でぜひ一緒に働きましょう。



異動経歴

H23年採用	千葉農業事務所
H28年	農林水産部耕地課
R 2年	海匠農業事務所

